

平成 30 年度使用小学校用教科用図書

特別の教科 道徳

# 選 定 資 料

平成 29 年 6 月

広島県教育委員会



## はじめに

広島県教育委員会は、平成 30 年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書「特別の教科 道徳」の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 10 条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

平成 29 年 6 月

広島県教育委員会

## 教科用図書選定資料について

### 1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「小学校用教科書目録（平成 30 年度使用）」に記載された教科用図書のうち「特別の教科 道徳」について、次の五つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

### 2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「小学校用教科書目録（平成 30 年度使用）」に記載されている発行者順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社
11	学図	学校図書株式会社
17	教出	教育出版株式会社
38	光村	光村図書出版株式会社
116	日文	日本文教出版株式会社
208	光文	株式会社光文書院
224	学研	株式会社学研教育みらい
232	廣あかつき	廣濟堂あかつき株式会社

## 特別の教科 道徳

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい道徳
11	学 図	かがやけみらい 小学校 道徳 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 活動
17	教 出	小学道徳 はばたこう明日へ
38	光 村	道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日 文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
208	光 文	小学道徳 ゆたかな心
224	学 研	みんなの道徳
232	廣 あ かつ き	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分を見つめ、考える 道徳ノート

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		② 主題名の示し方	主題名の示し方、具体例
		③ 発問の工夫	発問の記載箇所、数、記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の扱い、教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例
		⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
		⑥ 自己の生き方につなげる工夫	実生活に生かす教材等の扱い、具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 分量や教材の数	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
		⑧ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱い、教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 巻頭・巻末等の取扱いの工夫	巻頭・巻末等の示し方
		⑩ 教材の内容を理解させる工夫	イラスト・マーク・キャラクター等の示し方、活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑪ 考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方、具体例
		⑫ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの頻度数、具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

第4学年			
	オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「これから一年間で学ぶこと」</li> <li>○ 「どうとくの学習を進めるために」</li> <li>○ 「どうとくの時間が始まるよ!」</li> <li>○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに, 4つの視点ごとに, 1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに, 道徳の学習の流れを「1気づく」「2考える話し合う」「3ふり返る見つめる」「4生かす」の4つで示している。また, 左ページ下には, 「話し合いのやくそく」を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに, 道徳での6つの学習活動をイラストで示している。</li> <li>○ 見開き2ページに, ショートストーリーを基に, 話し合う視点を示し, 自分の考えを書く欄を2箇所設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分自身のこと」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいと思うことは自信を持って</li> <li>・正直に明るい心で</li> </ul> </li> <li>○ 「さあ, 四年生のどうとくの学習を始めよう。どうとくは, 心について考え, 自分の心をゆたかにしていく時間だよ。」</li> <li>○ 「いろいろな学習のしかたがあるね。」</li> <li>○ 「そういう考えもあるんだ!」</li> <li>○ 「自分だったらと考えると, どうかね。」</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうとくの学習を始めよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに, 道徳の学習活動のイラストや吹き出しを使い, 考える視点等を示している。</li> <li>○ 別冊「活動」では, 見開き2ページに, 教科書「読みもの」と教科書「活動」の2冊の授業での使い方を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「お話を読んで思ったこと感じたこと, 考えたことなどを, 先生や友達と伝え合ったり, 話し合ったりして, さらに広く, 深く, 自分のものにしよう。」</li> <li>○ 『活動』には, 考えを深めていくための発問が用意してあります。みんなで考えを出し合いながら, 新しい自分を見つけましょう。」</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「四年生のどうとくの学習が始まるよ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの右ページには, 今の自分の「好きなスポーツ」「自分の好きなところ」等6項目について書く欄と, 「目標とがんばりたいこと」を書く欄を設けている。</li> <li>○ 左ページには, 道徳の学習では, どのような学び方をするのかについて示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうとくでは, みなさんがすすんでどうとく的なおこないができるように, 気持ちや思いを発表し, 友達の考えを聞いたり, しつ問したりしながら, 話し合いをします。その話し合いをとおして, 自分自身の心を見がき, 思いやりや親切などについての学びを深めます。」</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうとくの時間は」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに, 「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「読んで考えよう」「書いて考えよう」という4つの学習活動をイラストや吹き出しを使い, 考える視点等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうとくの時間は, 今よりももっとよい生き方ができるよ, 考えていく時間です。」</li> <li>○ 「考えたことを, 毎日の生活の中で生かしていこう。」</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 「どうとくのとびら」</p> <p>○ 「どうとくの学び方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示している。また、例題を基に、道徳の意義について示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストや写真を使い、道徳の学び方を「1気づく」「2考える・深める」「3見つめる・生かす」の3つで示している。</p> <p>○ 別冊「どうとくノート」の「どうとくノートのとびら」には、4つの視点ごとに内容項目を記載し、特に学びたいものに印をつける欄を設けている。</p> <p>○ 自分の「好きな食べ物」「好きな本やお話」等5項目について書く欄を設けている。</p>	<p>○ 『『どうとく』ってどんなことを学習するの?』</p> <p>○ 『『どうとく』では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。』</p> <p>○ 「よりよく生きるためにたいせつなことについて、どのように考えればいいのか。』</p> <p>○ 「よりよく生きるためにたいせつなことの中で、あなたはとくにどれを学びたいのかな。』</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 「さあ、どうとくの学習が始まります」</p> <p>○ 「どうとくの時間は、こんな時間です」</p> <p>○ 「いろいろな場面で…」</p> <p>○ 「この本の使い方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、道徳の学習で学ぶ内容を示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストを使い、道徳の学び方を「問いをもつ」「考える」「話し合う」「まとめる」の4つで示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、道徳で学んだことが生活に生かされる流れを示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、教科書の使い方や道徳ノートの例を示している。</p>	<p>○ 「四年生のどうとくでは、次のようなことについて考えます。どうとくの学習を通して、どんな自分になりたいか、考えてみましょう。」</p> <p>○ 「どうとくの時間では、クラスみんなで考え、話し合う中で、考えを広げたり、深めたりしていくことが大切です。」</p> <p>○ 「どうとくの時間だけではなく、生活の中でも、問いについて考えたり、考えたことを実行してみたりしましょう。」</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 「道徳の学習が始まるよ」</p> <p>○ 「大きな心を育てよう」</p>	<p>○ 見開き2ページの右ページに、イラストや活動例を使い、4つの学習活動（記載例上段から4つ）を示し、「道徳の学習でがんばりたいこと」について書く欄を設けている。</p> <p>○ 左ページに、自分の「好きな食べ物」「好きな遊び」等10項目について書く欄を設けている。</p> <p>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>○ 「みんなの考えをよく聞いて、自分の考えをもっとふくらませよう。」</p> <p>○ 「少ない人数で話し合ってみよう。」</p> <p>○ 「自分の意見を表現してみよう。」</p> <p>○ 「書く活動を通して、自分の心の中に語りかけてみよう。」</p> <p>○ 「すてきな自分になるう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいことは自信をもってしよう</li> <li>・すなおで明るい心をもとう</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 「どうとくの時間はこんな時間」</p>	<p>○ 1ページに、子供の写真2枚とイラストと共に、道徳の時間の意義について示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、道徳の学習について、6つの学習活動（記載例上段2つ目から6つ）で示している。</p> <p>○ 別冊「どうとくノート」で、自分の「一番うれしかったこと」「得意なこと」「四年生でできるようになりたいこと」等8項目について書く欄を設けている。</p>	<p>○ 「どうとくの時間はあなたの心の成長をおうえんする時間です。」</p> <p>○ 「自分で感じ、考えて、自分の意見を伝えましょう」</p> <p>○ 「他の人の意見をよく聞きましょう」</p> <p>○ 「いろいろな答えがあります」</p> <p>○ 「みんなで考え、話し合いましょう」</p> <p>○ 「自分を見つめ、考えましょう」</p> <p>○ 『『どうとくノート』に書きましよう』</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②主題名の示し方
方法	主題名の示し方，具体例

	主題名の示し方	具体例
		第1学年 教材名「はしのうえのおおかみ」 内容項目B「親切，思いやり」
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ内容項目を扱う教材は，同じ主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点のマークと共に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「しんせつ」</li> <li>・ Bの視点「ひととともに」を表すオレンジ色のマークの下に示している。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材ごとに主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点の枠内に，マーク及び内容項目と共に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「しんせつなところで」</li> <li>・ Bの視点「ほかの人とのかかわり」を表したピンク色の枠内に，マーク及び「親切，思いやり」の文字の下に示している。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ内容項目を扱う教材は，同じ主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点の枠内に，マークと共に示している。</li> <li>○ 見開き左ページの左上に文字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「あたたかいところで」</li> <li>・ Bの視点「人とのつながりにかかわること」を表したオレンジ色の枠内のマークの上に示している。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材ごとに主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 4つの視点のマークと共に，学習のまとめごとの色で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「あいてにしんせつに」</li> <li>・ Bの視点「まわりのひとをたいせつにすることについてまなびます。」を表したマークの下にオレンジ色の文字で示している。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材ごとに主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点のマークと共に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「しんせつはいいきもち」</li> <li>・ Bの視点「ともだちやお世話になっているひとのかかわりをかんがえるおはなしです。」を表したオレンジ色のマークの下に示している。</li> </ul>
光文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材ごとに主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点のマークと共に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「やさしいところ」</li> <li>・ Bの視点「みぢかなひととのこと」を表した緑色のマークの下に緑色の文字で示している。</li> </ul>
学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ内容項目を扱う教材は，同じ主題名を示している。</li> <li>○ 巻頭の見開き2ページの中で，教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点のマークと共に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「おもいやり」</li> <li>・ 巻頭の見開き2ページ「ゆたかなところをそだてよう」の中で，Bの視点「あなたとわたし」を表したオレンジ色のマークの下にオレンジ色の文字で示している。</li> </ul>
廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材ごとに主題名を示している。</li> <li>○ 教材名の横に示している。</li> <li>○ 色別の4つの視点の枠内にマークと共に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名「あいてのことをかんがえて」</li> <li>・ Bの視点「あい手とのこと」を表したマークの上のオレンジ色の枠内に示している。</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③発問の工夫
方法	発問の記載箇所, 数, 記載例

		教材名「手品師」 内容項目A「正直, 誠実」	
		発問の記載箇所	数
		記載例	
東 書	○ 教材文の終わり	2	<p>【第6学年】主題名「せいじつに明るい心で」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター「こころん」と共に記載している。</li> <li>・ たった一人のお客さまの前で, 手品を演じている時の手品師の気持ちを書いて, 話し合ってみましょう。</li> <li>・ あなたは, そうしたほうがよいと思ったことを行動に移せたことはありますか。</li> </ul>
	○ 別冊「活動」の中	3	<p>【第5学年】主題名「せいじつな生き方とは」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やってみようアクティブ」マークと共に記載している。</li> <li>・ 「手品師」になったつもりで「男の子」と「友人」の間に立って二人と話し, 手品師の心の様子を考えましょう。</li> <li>○ 手品師と男の子のイラストや「かんがえようアクティブ」マークと共に記載している。</li> <li>・ 友人のさそいを断り, 男の子の前で手品を演じている時の手品師の気持ちは, どんなだったでしょう。</li> <li>○ 「みつめようアクティブ」マークと共に記載している。</li> <li>・ 自分自身にせいじつに行動して, 気持ちがよいと思ったことについて話し合ってみましょう。</li> </ul>
教 出	○ 冒頭の教材名の横	5	<p>【第6学年】主題名「誠実に明るい心で」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みなさんは誠実に明るい心で過ごしていますか。誠実に生きるとはどのようなことでしょうか。</li> </ul>
	○ 教材文の終わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びの手引き」に記載している。</li> <li>・ 友人からステージへの出演の電話を受けたとき手品師はどのようなことを考えていたでしょう。</li> <li>・ 手品師はどうして男の子のところへ行ったのでしょうか。話し合ってみましょう。</li> <li>・ 手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。</li> <li>・ 誠実に生きるとは, どのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。</li> </ul>
光 村	○ 冒頭の教材名の下	5	<p>【第6学年】主題名「自分の心に誠実に」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター「こころん」と共に記載している。</li> <li>・ だれかと約束したのに守れなかったことって, ある?</li> </ul>
	○ 教材文の終わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えよう」のコーナーに, 『「誠実に生きる』とは, どういうことだろう。』というめあてと共に記載している。</li> <li>・ 友人の「いい話」を聞きながら, 手品師は, どのようなことを思っていたでしょう。</li> <li>・ 手品師は, どのような思いから, たった一人のお客さまの前で手品をすることを選んだのでしょうか。</li> <li>・ 「誠実に生きる」とは, どのような生き方でしょう。</li> <li>○ 「つなげよう」のコーナーに, キャラクター「きらりん」と共に, 記載している。</li> <li>・ 誠実さって, どうして大切なんだろう。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

日 文	○ 冒頭の教材名の 下	6	<p>【第6学年】主題名「明るく生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター「ココロウ」と共に記載している。</li> <li>・「手品師」というお話をとおして、みんなで考えましょう。</li> </ul>
	○ 教材文に続く見 開き2ページ		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター「ココロウ」と共に「学習の手引き」に記載している。</li> <li>・「明るく生きる」ことについて、手品師になりきって考えてみよう。</li> <li>○ 手品師と男の子のイラストや、児童二人が会話する写真と共に記載している。</li> <li>・迷いに迷っている手品師の気持ちについて考えましょう。</li> <li>○ 手品師と友人のイラストと共に記載している。</li> <li>・チャンスを見送って、男の子との約束を果たそうと決心する手品師。その決め手となった思いは何でしょう。</li> <li>○ 手品師と男の子のイラストと共に記載している。</li> <li>・たった一人のお客様の前で、手品を演じているときの手品師は、どんな気持ちだったでしょう。</li> <li>○ 「道徳ノート」のマークと共に記載している。</li> <li>・この学習をとおして、どんな生き方がたいせつだと思ったかな。</li> </ul>
光 文	○ 冒頭の教材名の 横	7	<p>【第5学年】主題名「誠実に生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イラストと共に記載している。</li> <li>・あなたは、本気でなやんだことがありますか。</li> </ul>
	○ 教材文の下段		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター「ゆたかさん」の吹き出しに記載している。</li> <li>・男の子に、「きっと来るよ。」と答えたとき、手品師は、どのようなことを思っていたのかな。</li> <li>○ キャラクター「みらいさん」の吹き出しに記載している。</li> <li>・「友人」から電話をもらって、手品師がなやんだのは、どんなことだったのかな。</li> <li>○ キャラクター「わんだ先生」の吹き出しに記載している。</li> <li>・手品師は、なぜ大劇場に出られるチャンスをとったのかな。</li> <li>○ キャラクター「トーリー」の吹き出しに記載している。</li> <li>・手品師は、どのような思いで、男の子の前で手品をしているのでしょうか。</li> </ul>
	○ 教材文の終わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まとめるマーク」と共に記載している。</li> <li>・手品師の生き方をどう思いますか。また、あなたはどのような生き方がしたいですか。</li> <li>○ 「ひろげるマーク」と共に、記載している。</li> <li>・「誠実に生きる」とは、どういうことだと思いますか。みんなで話し合ってみましょう。</li> </ul>
学 研	○ 教材文の終わり	2	<p>【第5学年】主題名「誠実に生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えよう」のコーナーに記載している。</li> <li>・友人からのさそいの電話がかかってきたとき、手品師は心の中でどんなことを考えたでしょう。</li> <li>・自分が手品師だったら、どんなことを大切にしますか。</li> </ul>
廣 あ か つ き	○ 教材文の終わり	5	<p>【第6学年】主題名「大切なもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えよう話し合おう」の「学習の道すじ」のコーナーに、「手品師の迷いと決断を通して、誠実であることのすばらしさについて考える。」というめあてと共に記載している。</li> <li>・手品師は、どのようなことを考えて迷っていたのでしょうか。</li> <li>・手品師はどのように考えて、友人のさそいをきっぱりと断ったのでしょうか。</li> <li>・「ぼくにとっては」という手品師の言葉の意味を、生き方として考えてみましょう。</li> <li>・人に対して誠実に応えることができたとき、どんな気持ちになりますか。</li> </ul>
	○ 別冊「道徳ノ ート」の中		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「誠実に明るい心で」の中に記載している。</li> <li>・誠実に生きることは、どうして大切なのでしょうか。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④問題解決的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	問題解決的な学習の扱い，教材名，内容項目，問題意識の持たせ方，発問の具体例

	問題解決的な学習の扱い	第6学年	
		教材名，内容項目 問題意識の持たせ方	発問の具体例
東 書	○ 問題を見つけて考える教材には，目次及び該当ページに，マークを付けて示し，教材の終わりに，問題を解決するための「考えるステップ」を設けている。	○ 「タマゾン川」 ○ 「D 自然愛護」 ○ 「とびらページ」に，川の写真とともに「この川になにがおこっているのだろうか？」と示している。 ○ 外来種によって生態系が破壊されていることを基に，自然とのふれ合い方について考えさせている。	○ 「考えるステップ」に記載している。 ・ 飼えなくなった生き物を多摩川へにがす人の気持ちについて考えましょう。 ・ 「タマゾン川」はどのように生まれるのでしょうか。 ・ 自然や生き物とふれ合ううえで，大切にしたい心とはなんですか。 ・ あなたが考える，解決していく必要のある自然環境の問題はなんですか。
学 図	○ 問題解決的な学習に適した教材には，別冊「活動」の中に，「はなしあおう」のマークを付けて示している。	○ 「羊飼いの指輪」 ○ 「A 善悪の判断，自律，自由と責任」 ○ 長老の問いかけをとおして，自分勝手な行動の結果や周囲の人々の思いを考えさせている。	○ 別冊「活動」の中に，活動のマーク（「はなしあおう」「かんがえよう」「みつめよう」）と共に記載している。 ・ もしもあなたがこの指輪を持っていたら，どんなことを思いますか。 ・ みんなが羊飼いの指輪を持っている世界で生活するとしたら，どのような思いをもつことが必要でしょうか。 ・ 何かを自由にできる力を得たとき，その力をどう使いたいと思いますか。
教 出	○ 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに，「学びの手引き」を設けている。	○ 「天から送られた手紙」 ○ 「A 真理の探究」 ○ 冒頭の教材名の横に「私たちの身の回りには解き明かされていないなぞがたくさんあります。そうしたなぞを，先人はどのように探究してきたのでしょうか。」と示している。 ○ 雪の研究の第一人者である中谷宇吉郎の生き方とおして，真理の探究について考えさせている。	○ 「学びの手引き」の中に記載している。 ・ さまざまな雪の結しょうを調べ始めたとき，中谷宇吉郎はどのような気持ちだったでしょう。 ・ 実験装置の中で雪の結しょうができたとき，中谷宇吉郎はどのような気持ちになったでしょう。 ・ 中谷宇吉郎が雪の研究を続けることができたのは，どうしてでしょう。みんなで話し合ってみましょう。 ・ みなさんは中谷宇吉郎の，どのようなところがすごいと思いましたか。

【特別の教科 道徳】

<p>光 村</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう」のコーナーを設け、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「六年生の責任って？」 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」 ○ 冒頭の教材名の横に「六年生として、君が下級生や先生から頼りにされていると思うのはどんなことかな。」と示している。 ○ よりよい学校にしていくために、最高学年として何ができるかを話し合う場面をもとに、社会の発展のために寄与する大切さについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考えよう」のコーナーに、「より良い学校にしていくために六年生として、どんなことができるだろう。」というめあてと共に記載している。 ・六年生が見回って片づけをしたら、学校はどうなるでしょう。また、横山さんの意見を受けて、六年生も美化委員会も片付けなかったら、学校はどうなるでしょう。 ・あなたのクラスで、この話し合いの続きをしてみましょう。 ・六年生の責任とは、どのようなものだと思いますか。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができる教材には、目次及び該当ページに、マークを付けて示し、教材の終わりに、「学習の手引き」を設け、学習展開例を示している。</p>	<p>○ 「クラスのきまり」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 冒頭の教材名の横に「約束やきまりを守って楽しく生活するには、どんな心がまえが必要でしょう。」と示している。 ○ そうじをさぼっている人に罰を与えることについて、賛成、反対の立場から、きまりについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の手引き」の中に、「1問題をつかもう。」「2自分なりに考えよう。」「3問題について話し合おう。」「4問題を解決するときにはたいせつな考え方について話し合おう。」の順に記載している。 ・さとるとひろみは、それぞれどんなことを主張しているのでしょうか。 ・それぞれの主張のよいところ、よくないところを考えましょう。 ・考えたことについて、となりどうしやグループで交流しましょう。 ・あなたなら、よりよいきまりを考えるにあたって、どんな提案をするか考えましょう。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 問題の解決に取り組むことができるよう、冒頭の教材名の横や教材文の下段に、問いを示している。</p>	<p>○ 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 冒頭の教材名の横に『マナー』と『ルール』は、どちらがうのでしょうか。『たばこのポイ捨て』の例から考えてみましょう。」と示している。 ○ たばこのポイ捨てを減らす取組をもとに、ルールやマナーの大切さを考えさせている。</p>	<p>○ 教材文の下段にキャラクターと共に記載している。 ・たばこのポイ捨てがなくならないのは、どうしてかな。 ・あなたは、過料をとることについて、どう思いますか。 ・ルールをマナーに高めるためには、どうしたらいいのかな。</p>

【特別の教科 道徳】

<p>学 研</p>	<p>○ 「深めよう」のコーナーを教材の終わりに設け、問題解決的な学習の道筋を示している。</p>	<p>○ 「チョモランマ清掃登山隊」 ○ 「D 自然愛護」 ○ 「深めよう」のコーナーの中に、「清掃登山を続ける野口さんを支えているのは、どんな思いだろう。」と示している。 ○ 登山家野口さんの体験と活動を通して、自然と共存するために必要なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「深めよう」のコーナーの中に、「つかもう→探そう→ふみ出そう」の順に記載している。 ・チョモランマに捨てられたごみの写真を見て、どう感じましたか。 ・自然との共存のために、どんなことを大切にしたいと思いますか。 ・さまざまな命が生きる、かけがえない地球。「自然とともに生きている」と感じたことを、みんなで話し合ひましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう話し合おう」のコーナーを設け、「学習の道すじ」の中で、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「自由という名の席」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「新幹線の中での出来事を通して、きまりを守って自他の権利を尊重し、義務を果たすことの大切さについて考える。」と示している。 ○ 満員の新幹線で、席取りをしている人と、座れない人との言い合いをもとに、自他の権利について考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の道すじ」にめあてとともに記載している。 ・車両のおくで言い合う男女それぞれの言い分を、あなたはどう思いますか。 ・吉村さんは「自由席」と書かれたプレートを見上げて、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・だれもが気持ちよく過ごせるように、公共の場では、どんなことに注意しなければならないのでしょうか。</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤体験的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	体験的な学習の扱い，教材名等，内容項目，体験的な学習活動の概要，体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	第3学年	
		教材名等，内容項目 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東 書	○ 「出会う・ふれ合う」のマークを使い，目次及び該当ページに示している。	○ 「さいこうにうれしい『おはよう！』」 ○ 「B 礼儀」 ○ 気持ちの良いあいさつを実際にやってみて考える活動。	○ 「さいこうにうれしい『おはよう！』」をすとしたらどうするか考え，シートに書く。 ○ シートを基に，グループで「さいこうにうれしい『おはよう！』」を考え，実際にやってみる。 ○ 活動を通して気付いたことや感じたことを発表し合う。
学 図	○ 「やってみよう」のマークを使い，別冊「活動」の中に示している。	○ 「言葉のまほう」 ○ 「B 礼儀」 ○ 言い争いになった時と，自分の悪さをみとめて声をかけ合った時の気持ちを演じて考える活動。	○ 別冊「活動」の中で，「やってみよう」のマークと共に発問を記載し，役割演技を促している。 ・言いあらそいになった時と，自分の悪さをみとめて声をかけ合った時とでは，「ぼく」の気持ちはどうちがっているでしょう。
教 出	○ 「スキル」のマークを使い，目次及び該当ページに示したり，「学習の手引き」の中に，「ジャンプ」のマークを示したりしている。	○ 「どうしていけないのかな」 ○ 「B 礼儀」 ○ スーパーマーケットの店員のおじさんや客のおばあさんに，どのように話せばよいかを演じて考える活動。	○ 教材文の途中の「やってみよう①②③」のコーナーに，場面の状況を示した挿絵と共に発問を記載し，役割演技を促している。 ・まなみさんと店員のおじさんになってえんじてみましょう。 ・まなみさんとお客のおばあさんになってえんじてみましょう。 ・まなみさんはどういえばよかったのでしょうか。もう一度えんじてみましょう。
光 村	○ 「考えよう」のコーナーの中に，「○○になったつもりで，話してみよう」「演じてみよう」等の学習活動を示している。	○ 「持ってあげる？食べてあげる？」 ○ 「B 親切，思いやり」 ○ みきちゃんやたけし君に頼まれた時，どのように行動すればよいかを演じて考える活動。	○ 教材文の中に，2つの場面を示し，発問と共に役割演技を促している。 ・みきに「ランドセル，持って。」と言われたとき，「わたし」は，何と答えたらよいと思いますか。「わたし」役とみき役に分かれて，えんじてみましょう。 ・「わたし」は，たけしに何と答えたらよいと思いますか。「わたし」役とたけし役に分かれて，えんじてみましょう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 「劇をしたり、体を動かしたりして考える」マークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>	<p>○ 「どんどん橋のできごと」 ○ 「A 節度、節制」 ○ まことくんが川の中に傘を入れようと言った場面と、傘が壊れてみんなが慰めてくれた場面の気持ちを演じて考える活動。</p>	<p>○ 「学習の手引き」に、「よく考えて行動することについて、『ぼく』になりきって考えてみよう。」というめあてを示し、発問と共に役割演技を促している。 ・「ぼく」がかさを入れるまでの場面をたいけんしてみましよう。 ・みんながなぐさめてくれた場面をたいけんしてみましよう。 ・えんじてみてどんな気持ちになりましたか。 ・見ていて、自分の考えとくらべて、どう思いましたか。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 学習したことが生活の場での体験につながるよう、体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 「生きたれいぎ」 ○ 「B 礼儀」 ○ 礼儀について学習した後、和食のマナーであるはしの正しい使い方をやってみて考える活動。</p>	<p>○ 「おはしを正しくつかいましょう」と示し、正しい箸のもち方や取り方をイラストと共に示している。 ○ 当たり前のように使っている箸の使い方を見直すよう促している。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 「やってみよう」のマークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>	<p>○ 「貝がら」 ○ 「B 友情、信頼」 ○ 教材の主人公「ぼく」が中山君にどのように話すかを演じて考える活動。</p>	<p>○ 教材の終わりに、「やってみよう」「役わりえんぎ」のマークと共に発問を記載している。 ・病気がなおった「ぼく」が、学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましよう。 ・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましよう。 ・えんぎする人は自由にえんじてみよう。 ・見る人は自分ならどう言うか考えながら見よう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 「考えようはなしあおう」のコーナーに、学習を広げる内容として、「活動しよう」のマークを示している。</p>	<p>○ 「あめ玉」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 女の子たちの行動とそれを見た「わたし」の思いを演じて考える活動。</p>	<p>○ 「考えようはなしあおう」のコーナーの中に、「学習を広げる」内容として、マークと共に発問を記載し、役割演技を促している。 ・女の子（お姉さん）と妹のやり取りを、役わりを交代しながらえんじてみましよう。えんじることで、それぞれの気持ちを感じ取りましよう。</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥自己の生き方につなげる工夫
<b>方法</b>	実生活に生かす教材等の扱い，具体例

	実生活に生かす 教材等の扱い	具体例（第4学年）
<b>東 書</b>	○ 他の教科の学習とつなげたり，普段の生活に広げたりすることができるよう，教材の後ろに「つながる・広がる」のページを設けている。	○ タイトル「守ろう，自然やそこに住む生き物たちを」 ○ タイトルの横に「つながる・広がる」のマークを示している。 ○ 他の教科との関連として「社会・理科」と示している。 ○ キャラクター「こころん」が投げかけている。 ・みんなのまわりには，どんな生き物がいるかな？どんなことができるかな？ ○ ウミガメ，コウノトリを守る活動をしている児童の様子を5枚の写真と共に示している。
<b>学 図</b>	○ 道徳の学習を自らの生活と関連付けて考えられるよう，「言葉，情報モラル」「生き方を学ぼう」等の5つの視点を基にした，6つの「読みものコラム」を掲載している。	○ タイトル「みんなで楽しく食事をしよう」 ○ タイトルの横に「気を付けよう，気づかおう」と示している。 ○ 関連する内容項目として，マークと共に「礼儀」と示している。 ○ 「おしゃべり」「食事のしせい」「食器の持ち方」の3項目を取り上げ，他の人の目にとまった時，「スマートだ」と言える食事の仕方について示している。
<b>教 出</b>	○ 他教科等への学びに発展し，深められるよう，巻末に「補充教材」として，「こころざしをもって」「国やきょう土を愛する」等の視点を基に，4～5つの読み物を掲載している。	○ タイトル「動物たちの命を守る—熊本市動物愛護センターのちょう戦—」 ○ タイトルの横に「命を大切に」と示している。 ○ 動物愛護センターやふれあい訪問教室の写真，動物愛護センター所長の話をもとに，「命」について考えさせている。
<b>光 村</b>	○ 自己の生き方についての考えを深められるよう，教材と「情報モラル」「環境」「国際理解」等の視点を基にしたコラムを組み合わせ合わせた「ユニット」を2～5つ設けている。	○ タイトル「見えないしょうがい気づくこと」 ○ タイトルの上に「共に生きる」と示している。 ○ キャラクター「きらりん」が投げかけている。 ・「こまっていることの例」には，いろいろあることを知っておこう。 ○ 「見た目には分からなくてもこまっていることの例」として，「耳が聞こえにくい」「人工関節や義足」等の例を5つ示している。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 他の教育活動と関連付け、より広く深く考えることができるよう、「心のベンチ」を設けている。</p>	<p>○ タイトル「守りたい、この自然」 ○ タイトルの横に「心のベンチ」と示している。 ○ キャラクター「ココロウ」が投げかけている。 ・貴重な自然や生き物を守ろうとする活動が、日本各地で行われています。 ○ ホタル（福岡県）、ニッポンバラタナゴ（奈良県）、キンランなど（東京都）を守る活動をしている児童の様子を7枚の写真と共に示している。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 他教科や特別活動等の学習につなげて考えることができるよう、「情報モラル」「スポーツ」等の題材を扱ったコラムを掲載している。</p>	<p>○ タイトル「地域のねがいでつくられ、守られてきたもの」 ○ 「地域のねがいでつくられ、守られてきたもの」として、白洲灯台（福岡県）、玉川上水（東京都）、広村ていぼう（和歌山県）について、その写真と概要を掲載し、自分たちの地域にも目を向けさせている。 ・みなさんの地域にもこのようなものがないか、さがしてみましよう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 教材で学習したことを基に、自分の生活や生き方につなげて考えることができるよう、「つなげよう」「広げよう」等の4種類の「学び方のページ」を掲載している。</p>	<p>○ タイトル「『命』ってどんなものですか」 ○ タイトルの上に「つなげよう」と示している。 ○ 「『命』ってあたたかい」という題の児童作文を、乳児を抱いている児童の写真と共に掲載している。 ○ 出生時のことを家族に聞き取りをした児童の感想文を2点掲載している。 ○ 出生時のことを聞く活動を促し、書く欄を設けている。 ・あなたが生まれた時のことを、家の人に聞いて書きましよう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 他の教育活動との関連を図りながら、身近な問題として考えることができるよう、巻末に、「生命尊重」「ともに生きる社会」「情報モラル」についての読み物を掲載している。</p>	<p>○ タイトル「だれもが住みよい社会に」 ○ 車いすに乗った男性を囲んでいる家族の写真と共に投げかけている。 ・これからの日本をつくっていくのはわたしたち。わたしたちにできることから、考えてみましよう。 ○ 「『バリアフリー』ってなあに」と示し、段差のない電車の出入り口などの例を3枚の写真と共に掲載している。 ○ 3枚の写真と共に投げかけている。 ・身の回りのバリアフリーを見つけてみましよう。 ・バリアフリーのアイデアを出し合い、話し合ってみましよう。</p>

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦分量や教材の数
<b>方法</b>	判型, ページ数, 4つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東 書	第1学年	A B	1 2 0	1 1	9	9	6
	第2学年		1 4 0	1 0	8	1 0	8
	第3学年		1 6 2	9	8	1 2	7
	第4学年		1 6 6	1 0	8	1 1	7
	第5学年		1 7 8	8	7	1 3	8
	第6学年		1 9 4	9	7	1 2	8
学 図	第1学年	A B (A B)	1 2 2 (5 0)	1 1	7	1 0	6
	第2学年		1 3 0 (5 0)	1 1	8	1 0	6
	第3学年		1 4 2 (5 0)	1 0	9	1 0	6
	第4学年		1 5 8 (5 0)	1 0	9	1 0	6
	第5学年		1 5 4 (5 4)	9	7	1 2	7
	第6学年		1 5 4 (5 4)	9	7	1 2	7
教 出	第1学年	A B	1 2 2	9	6	1 1	7
	第2学年		1 3 4	9	8	9	8
	第3学年		1 3 8	1 0	8	1 2	4
	第4学年		1 4 6	9	8	1 2	5
	第5学年		1 5 4	8	6	1 4	6
	第6学年		1 5 4	1 2	6	1 1	5
光 村	第1学年	B 5	1 2 9	1 0	8	1 1	5
	第2学年		1 5 3	1 0	8	1 2	5
	第3学年		1 7 7	9	9	1 2	5
	第4学年		1 8 5	9	9	1 2	5
	第5学年		1 9 7	9	9	1 1	6
	第6学年		2 0 9	8	9	1 1	7

【特別の教科 道徳】

日 文	第1学年	A B (B 5)	1 4 6 (4 1)	1 1	8	1 4	4
	第2学年		1 6 6 (4 2)	1 1	8	1 3	6
	第3学年		1 7 8 (4 2)	1 0	1 0	1 2	6
	第4学年		1 8 6 (4 2)	1 1	1 0	1 1	6
	第5学年		1 8 6 (4 2)	8	※1 0	※1 5	7
	第6学年		1 8 6 (4 2)	9	8	※1 4	※9
光 文	第1学年	A 4 変形	1 5 8	1 2	9	1 2	7
	第2学年		1 6 6	1 1	9	1 3	7
	第3学年		1 8 2	7	1 2	1 4	7
	第4学年		1 8 6	8	1 1	1 4	7
	第5学年		1 9 0	1 0	9	1 2	9
	第6学年		1 9 4	1 0	8	1 3	9
学 研	第1学年	A 4	1 3 2	1 1	8	9	6
	第2学年		1 3 6	1 1	8	1 0	6
	第3学年		1 5 2	9	9	1 1	6
	第4学年		1 5 6	9	9	1 1	6
	第5学年		1 6 4	9	9	9	8
	第6学年		1 6 8	9	9	9	8
廣 あ か つ き	第1学年	A B (A B)	1 1 8 (6 0)	1 1	8	1 0	5
	第2学年		1 1 8 (6 0)	1 1	8	1 1	5
	第3学年		1 2 6 (6 4)	1 0	9	1 1	5
	第4学年		1 3 8 (6 4)	1 0	9	1 1	5
	第5学年		1 6 2 (7 2)	1 1	8	1 0	6
	第6学年		1 7 0 (7 2)	1 1	8	1 0	6

【備考】全ての発行者に掲載されている教材名 ( ) は、複数ある場合の教材名

教材名	学年	教材名	学年
かぼちやのつる	第1学年	花さき山	第3, 4学年
はしの上のおおかみ	第1学年	ブラッドレーのせい求書 (お母さんのせい求書)	第3, 4学年
金のおの (きんのおの ぎんのおの)	第1, 2学年	雨のバスていりゅう所で	第4学年
七つのほし (ひしゃくぼし)	第1, 2学年	手品師	第5, 6学年

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
<b>方法</b>	いじめの問題の扱い，教材等の例

	いじめの問題の扱い	第5学年
		教材等の例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを題材として扱った直接的教材と、いじめを直接扱わない間接的教材の2つを、1つのユニットとして組み合わせた「いじめのない世界へ」を設けている。</li> <li>○ 「いじめのない世界へ」は、マークを使い、目次及び該当ページに示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ とびらページ「いじめのない世界へ やなせたかしさんの言葉」</li> <li>○ 「転校生がやってきた」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「差別やへんげんのない公正・公平なたいどで」</li> <li>・内容項目「C 公正，公平，社会正義」</li> </ul> </li> <li>○ 「ノンステップバスでのできごと」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「相手の立場に立って親切に」</li> <li>・内容項目「B 親切，思いやり」</li> </ul> </li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめという直接的な表現を多用することなく、日常生活で起こりうる問題から考えられる教材を選定している。</li> <li>○ 「公正，公平，社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情，信頼」「親切，思いやり」などの内容項目においても教材を選定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「言葉のおくりもの」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「みんな友達」</li> <li>・内容項目「B 友情，信頼」</li> </ul> </li> <li>○ 「マリアン・アンダーソン」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「差別を乗り越えて」</li> <li>・内容項目「C 公正，公平，社会正義」</li> </ul> </li> <li>○ 「明の長所」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「個性をのばす」</li> <li>・内容項目「A 個性の伸長」</li> </ul> </li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ問題を扱う教材には、重点的に扱うマークを使い、目次及び該当ページに示している。</li> <li>○ 「公正，公平，社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情，信頼」「親切，思いやり」などの内容項目においても教材を選定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知らない間のできごと」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「豊かな人間関係をつくる」</li> <li>・内容項目「B 友情，信頼」</li> </ul> </li> <li>○ 「だれかをきずつける機械ではない」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「正義の実現のために」</li> <li>・内容項目「C 公正，公平，社会正義」</li> </ul> </li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な内容項目からいじめ問題に結び付く教材とコラムを1つのユニットとして設けている。</li> <li>○ いじめ問題のユニットを学年の前半に位置付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「すれちがい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「広い心で」</li> <li>・内容項目「B 相互理解，寛容」</li> </ul> </li> <li>○ 「どうすればいいのだろう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「公正・公平な態度とは」</li> <li>・内容項目「C 公正，公平，社会正義」</li> </ul> </li> <li>○ コラム「相手の気持ちを考えよう —『いじめ』の映画作りから」</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ防止をテーマとし、「公正、公平、社会正義」や「友情、信頼」、「生命の尊重」などの内容項目の教材を1つのユニットとして設けている。</li> <li>○ いじめ防止のユニットは、「心のベンチ」と組み合わせ、学期に1回位置付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「マンガ家 手塚治虫」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「たいせつな自分らしさ」</li> <li>・内容項目「A 個性の伸長」</li> </ul> </li> <li>○ 「名前のない手紙」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「正義の実現」</li> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> </ul> </li> <li>○ 心のベンチ 『いじめ』の傍観者</li> </ul>
光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ防止について、直接的・間接的に考えられる教材とコラム「みんな仲良し楽しい学校」を発達段階に合わせて選定している。</li> <li>○ 「公正、公平、社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情、信頼」「親切、思いやり」などの内容項目においても教材を選定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ガンジーのいかり」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「正義をつらぬいた人」</li> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> </ul> </li> <li>○ 「ドッジボールを百倍楽しくする方法」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「勝つよりもすてきなこと」</li> <li>・内容項目「B 友情、信頼」</li> </ul> </li> <li>○ 『スイミー作戦』『ガンジー作戦』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「いじめに負けないために」</li> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> </ul> </li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを題材として扱った直接的教材と、いじめを直接扱わない間接的教材を選定している。</li> <li>○ 第3・4学年では、重点テーマを「仲よく生きる」と設定し、いじめ防止に関連した教材を複数時間扱うことができるように位置付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「台湾からの転入生」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「相手の心を知って」</li> <li>・内容項目「B 親切、思いやり」</li> </ul> </li> <li>○ 「日本の『まんがの神様』」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「もっと自分らしく」</li> <li>・内容項目「A 個性の伸長」</li> </ul> </li> <li>○ 「いじめをなくすために」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「公正公平な社会を求めて」</li> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> </ul> </li> </ul>
廣 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを題材として扱った直接的教材と、いじめを直接扱わない間接的教材を選定している。</li> <li>○ 「公正、公平、社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情、信頼」「親切、思いやり」などの内容項目においても教材を選定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金曜日の班活動」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「広人の発表」</li> <li>・内容項目「A 善悪の判断、自律、自由と責任」</li> </ul> </li> <li>○ 「魚の世界」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「広い海へ」</li> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> </ul> </li> <li>○ 「ぼくの名前よんで」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題名「初めて見たなみだ」</li> <li>・内容項目「C 家族愛、家庭生活の充実」</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨巻頭・巻末等の取扱いの工夫
<b>方法</b>	巻頭・巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「これから一年間で学ぶこと」として、4つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「道徳の学習を進めるために」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「道徳の時間が始まるよ！」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「学習のふり返し」を3ページ、「かがやく自分に！」を1ページで示している。</li> <li>○ 第1学年は、礼儀に関する内容等、各教科等との関連、家庭や地域との連携等の付録を5ページ、第2学年以上は、伝統文化やスポーツ等の付録を6ページで示している。</li> <li>○ 第1学年は、「これから1年間で学ぶこと」として4つの視点ごとに教材名を1ページで示している。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークと共に、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習を始めよう」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年の別冊「活動」の目次には、4つの視点で色分けしたマークと共に、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、別冊「活動」には、使い方の説明を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。</li> <li>○ 「道徳の学習をふり返ろう」を1ページで示している。</li> <li>○ 別冊「活動」には、話し合いの仕方として、第1・2学年は「活動のヒント」を5ページ、第3学年以上は「活動の資料」を3ページで示している。</li> <li>○ 各学年の別冊「活動」には、保護者向けに4つの視点の内容と共に、めざすこと、教材名を示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークと共に、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「1年間の道徳の学習をふり返ろう」を1ページで示している。</li> <li>○ 第1・2学年には、「身に付けよう礼儀・マナー」を4ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前には、命をテーマにした詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、学習のまとまりを表すマークと共に、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 第2学年以上には、「道徳の時間は」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びの記録」を第1・2学年は1ページ、第3学年～第6学年は2ページで示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、各分野で活躍している人からのメッセージを1ページ、日本の伝統文化について2ページ、「わたしたちの学ぶ世界」を2ページで示している。第5・6学年には、「感情を表すときの言葉」を1ページで示している。「よりよい人間関係を築くためのこつ」を第1学年～4学年は1ページ、第5・6学年は2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域の関わりを記載している。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳のとびら」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学び方」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。各学年、「道徳ノートのとびら」を1ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示している。</li> <li>○ 各学年、別冊「道徳ノート」には、「道徳の学習で学んだことを書きましょう。」を1または2ページで設けている。</li> </ul>
光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「さあ、道徳の学習が始まります」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の時間は、こんな時間です」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「いろいろな場面で・・・」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「この本の使い方」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、関連性のある内容項目を記載している。</li> <li>○ 各学年、折り込みで「学びの足あと」を設けている。</li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前には、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」「自分のことを書いてみよう」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、4つの視点ごとの教材一覧を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他の教科等との主な関連を記載している。</li> <li>○ 各学年、「心の宝物ー学びの足あとー」を1ページで設けている。</li> </ul>
廣 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、詩を1ページで掲載している。</li> <li>○ 第1学年は、「どうとくのじかんは」を1ページ、第2学年以上は、「道徳の時間はこんな時間」を3ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。「今の自分を見つめて」「自分を見つめて」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目と共に、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、4つの視点ごとに色分けされた教材一覧を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、別冊「道徳ノート」には、折り込みで「心のしおり」を設けている。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩教材の内容を理解させる工夫
<b>方法</b>	イラスト・マーク・キャラクター等の示し方、活用の具体例

	イラスト・マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「出会う・ふれ合う」のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「つながる・広がる」のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「問題を見つけて考える」のマークを設定している。</li> <li>○ 「いじめのない世界へ」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラル」をマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 「出会う・ふれ合う」は、コミュニケーション活動による相互理解を深める学習ができることを示している。</li> <li>○ 「つながる・広がる」は、各教科等と関連づけた学習ができることを示している。</li> <li>○ 「問題を見つけて考える」は、問題解決的な学習ができることを示している。</li> <li>○ 「いじめのない世界へ」は、いじめを許さない心を育てることができる学習を示している。</li> <li>○ 「情報モラル」は、情報モラル教育ができることを示している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」を使い、第1・2学年は、ポイントになる発問を示している。第3学年以上は、それぞれの教材の終わりに、ポイントになる発問と自分の生活を見つめる発問を示している。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「読みものコラム」のマークを設定している。</li> <li>○ 別冊「活動」のページをマークで示している。</li> <li>○ 別冊「活動」には、「考えよう」「見つけよう」「アクティブ」のマークを設定している。</li> <li>○ 教科書「読みもの」のページをマークで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する4つの視点と内容項目を示している。</li> <li>○ 「情報モラル」「いじめ問題」「防災・安全教育」「キャリア教育」等を読みものコラムとして示している。</li> <li>○ 該当する別冊「活動」のページを教材名の下に示している。</li> <li>○ 「考えよう」は中心発問、「見つけよう」は後段での発問、「アクティブ」は「はなしあおう」「やってみよう」「かいてみよう」等、道徳的価値に迫る効果的な学習活動を示している。</li> <li>○ 該当する「読みもの」のページを教材名の下に示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 現代的な課題を読み解く教材をマークで示している。</li> <li>○ 「スキル」をマークで示している。</li> <li>○ 「ジャンプ」をマークで示している。</li> <li>○ 子供のイラストを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名の下に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 「いじめをなくす」は黄、「情報モラル」は青、「生命尊重」は赤と、色別のマークで分け、目次及び該当ページに示している。</li> <li>○ 「スキル」は体験を通して考えを深める学習を示している。</li> <li>○ 「ジャンプ」は役割演技を促す発問等を示している。</li> <li>○ 「学びの手引き」の中で、子供のイラストを使い、児童の心の動きを示している。</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間を4つのまとりに分けた「学習のまとり」をマークで示している。</li> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「コラム」をマークで示している。</li> <li>○ 「考えよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「つなげよう」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」「きらりん」を設定している。</li> <li>○ 第3学年以上は、子供のイラストを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活の実態に即して、4・5月、6～9月、10～12月、1～3月のまとりを色別のマークで示している。</li> <li>○ 主題名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 現代的な課題について考えることができる内容について、「コラム」として示している。</li> <li>○ 「考えよう」は学びのめあてを示している。</li> <li>○ 「つなげよう」は他教科等との関連や日常生活への意識づけ等を示している。</li> <li>○ 主題名の下に、キャラクター「こころん」が疑問や考えるポイントを示している。また、教材の最後に、キャラクター「きらりん」が学習したことを生活に広げる発問を示している。</li> <li>○ 学習の助けとしてヒントや例等を子供のイラストで示している。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 教材の学び方をマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「ココロウ」を設定している。</li> <li>○ キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」を設定している。</li> <li>○ 「考えてみよう」「見つめよう生かそう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ふろく」をマークで示している。</li> <li>○ 「心のベンチ」をマークで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 教材名の下に、学び方マークを使い、体験的な学習や問題解決的な学習、パソコンやインターネットを使って深める学習であることを示している。</li> <li>○ 教材の中で、学習をガイドするキャラクター「ココロウ」が、疑問や考えるポイントを示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」が、発問を示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、考えてみたい発問やこれからの自分に生かしていきたい発問を示している。</li> <li>○ 補充用の教材を「ふろく」として示している。</li> <li>○ 学習を広げ深めるページを「心のベンチ」として示している。</li> </ul>
<p>光 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点と、各学年で特に考えたことをマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「トリー」「わんだ先生」を設定している。</li> <li>○ 「まとめる」「ひろげる」マークを設定している。</li> <li>○ 「みんなでやってみよう！」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラル」「コラム」「ふろく」をマークで示している。</li> <li>○ 「ことばのたからもの」のマークを設定している。</li> <li>○ 「みんな仲良し楽しい学校」のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名の横に、該当する4つの視点や各学年で特に考えたことを示している。</li> <li>○ 児童の思考をサポートするキャラクターが、考えるためのポイントや考えを広めるための見方などを示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、「まとめる」「ひろげる」マークを使い、まとめや、広げ深める発問を示している。</li> <li>○ 「みんなでやってみよう！」のマークを使い、人間関係を豊かにするコラムを示している。</li> <li>○ 情報モラルを扱う教材や関連教材であることを示している。</li> <li>○ 教材と関連させ、言葉の意味を理解させるよう、「ことばのたからもの」のマークを示している。</li> <li>○ 学校生活の大切さを学ぶことができるよう、キャラクターのイラストを使って示している。</li> </ul>
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 最重点テーマと重点テーマをマークで示している。</li> <li>○ 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラル」をマークで示している。</li> <li>○ 「?考えよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 鉛筆のマークを設定している。</li> <li>○ 家のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 最重点テーマと重点テーマについては、複数時間扱いで教材を選定し、教材の左上にマークを示している。</li> <li>○ 「学び方のページ」として、学習を広げ、深めるページに示している。</li> <li>○ 情報モラルについて考えるページの右下に示している。</li> <li>○ 各教材の最後に、「?考えよう」のマークを使い、発問を示している。</li> <li>○ 自分の考えや友達の考えを記述できるように示している。</li> <li>○ 集団・社会との関わりを重視し、家庭と連携する学習活動を示している。</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、教材と関連し学びを深める特集を葉のマークで示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「学習の道すじ」を表すマークを示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「学習を広げる」マークを示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」に鉛筆のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の下に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 第3学年以上は、教材と関連して、学びを深めるための特集ページを設けている。</li> <li>○ 第3学年以上の「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「学習の道すじ」を表すマークと共に、学習のめあてを示している。</li> <li>○ 第3学年以上の「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「学習を広げる」マークと共に、学習内容を広げたり深めたりできるように示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の中に、教材を通して感じたことや考えたことをまとめるための書く欄を示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	㊴考えを伝え合う活動の工夫
<b>方法</b>	話し合いを促す示し方, 具体例

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「道徳の学習を進めるために」の中に、話し合う活動を示し、「話し合いの約束」として、話し合いのポイントを示している。</li> <li>○ 巻頭の「ちょっとみんなで話し合ってみよう」の中にショートストーリーを例とし、自分の考えをもつ活動を設定し、話し合いの状況を示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、教材における話し合う学習活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合いの約束」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くときは・・・</li> <li>・話すときは・・・</li> </ul> </li> <li>○ 「あなたの考えを書いてみよう。」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人によっていろいろな考えがあるんだな。</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「ベートーベン」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたはどんなゆめや希望を持っていますか。それを実現させるために、どうしたらよいか話し合ってみましょう。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合いの状況を示している。</li> <li>○ 別冊「活動」の巻末に「活動の資料」のページを設け、話し方、聞き方、話し合いのポイントを示している。</li> <li>○ 別冊「活動」の中に、「はなしあおう『アクティブ』」のマークを使い、教材における話し合う学習活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ぼくだったらこうするよ。」「わたしは、こうしたほうがいいと思うな。」</li> <li>○ 「上手な話し方・きき方」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「たんでいのつもりが・・・」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやしい人を見かけた勇介と幸太はどのようなことを考えて行動に移したのでしょうか。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「五年生の道徳の学習が始まるよ」の中に、話し合いの意義や活動について示している。</li> <li>○ 教材の終わりの「学びの手引き」の中に、話し合いの具体的な状況を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分の思いや考えを発表し、友達のことを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。」</li> <li>○ 教材名「知らない間のできごと」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話のあとに、あゆみさんとみかさんはどのような友達になったでしょう。みんなで話し合ってみましょう。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「道徳の時間は」の中に、「考えよう」というキーワードを用いた学習活動の一環として、話し合いの具体的な状況を示している。</li> <li>○ 巻末に、「感想を表すときの言葉」のページを設け、自分の感じたことを伝えるための語彙を示している。</li> <li>○ 教材の終わりの「考えよう」の中に、教材における話し合う学習活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合って考えよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしとは、ここが同じで、ここがちがう。</li> <li>・もっとくわしく考えを聞かせて。</li> </ul> </li> <li>○ 「感想を表すときの言葉」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・心を打たれる</li> <li>・心が温まる</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「ケンタの役割」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理したことをもとに、ケンタが何と言ったか、グループで話し合いましょう。</li> </ul> </li> </ul>	

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の学び方」の中に、話し合いの具体的な状況を示している。</p> <p>○ 「学習の手引き」や「心のベンチ」の中に、話し合いの流れを示している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、教材における話し合う学習活動を示している。</p>	<p>○ 「話し合ってみよう」</p> <p>○ 「話し合ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える。</li> <li>・グループで意見を出し合う。</li> <li>・全体で意見の交流や話し合いを行う。</li> </ul> <p>○ 教材名「たのむよ， 班長」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合ったことをもとに、「集団での役割」について，どんな考え方がたいせつか，学級全体で話し合ってみましょう。</li> </ul>
<p>光 文</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間は，こんな時間です」の中の，学習の手順に，話し合う活動を提示し，話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりに，教材における話し合う学習活動を示している。</p>	<p>○ 「話し合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな人の考えを聞いて話し合い，考えを深めましょう。</li> <li>・自信がなくてもだいじょうぶ。自分の意見を伝えよう。</li> <li>・友だちの話をよく聞いて，質問したり，つけ足したりするといいね。</li> </ul> <p>○ 教材名「うばわれた自由」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や学校で，「本当の自由」を大切にするにはどうすればよいのか，話し合いましょう。</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」の中の，学習の手順に，話し合う活動を提示し，話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 「学び方のページ」の中に「活動」の欄を設け，話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりに，教材における話し合う学習活動を示している。</p>	<p>○ 「語り合い，考えを練ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達の考えを書き留める。</li> <li>・周りの人や，クラスのみんなど話し合う。</li> </ul> <p>○ 「活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループやクラスで，考えたことを話し合ってみましょう。</li> <li>・クラス全体で，さまざまな考えを確かめてみましょう。</li> </ul> <p>○ 教材名「おもしろければいいの」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを楽しく安全に使うためのルールを考えてみましょう。みんなで話し合ってみましょう。</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間はこんな時間」の中に，学習全体でねらいとする活動や内容を紹介し，話し合いの意義やポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりに，教材における話し合う学習活動を示している。</p>	<p>○ 「自分で感じ，考えたことを伝え，他の人の意見をよく聞きましょう」</p> <p>○ 「さまざまな答えがあります」</p> <p>○ 「みんなで考え，話し合いましょう」</p> <p>○ 教材名「ちゃんとやれよ， 健太」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼく」になったつもりで，健太をはげますメールの文章を書いてみましょう。また，友達と文章を交かんし合って，メールを受け取った相手がどのような気持ちになるか，話し合ってみましょう。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
<b>方法</b>	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの頻度等，具体例

	第4学年		
	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの頻度等	具体例
東書	○ 巻末に，心に残った教材や友達の意見，感じたことや考えたことなどを記録する，振り返りのページを設けている。	○ 「学習のふり返し」 【授業14時間分，長期休業前3回分】  ○ 「これからもかがやく自分に！」 【記入欄2箇所】	○ 「学習のふり返し」 ・心にのこったお話や友だちの意見，感じたことや考えたことなどを書いておこう。 ○ 「これからもかがやく自分に！」 ・4年生になってからのことを思い出してみよう。
学図	○ 巻末に，学習の感想をマークで描いたり，学習した日にちを書いたりして，学習を振り返る欄を設けている。	○ 「どうとくの学習をふり返ろう」 【毎時間分】	○ 「どうとくの学習をふり返ろう」 ・「学習の記録」のらんに学習の感想をマーク（心に残った・・・♥，深く考えた・・・☆）でかいたり，学習した日にちを書いたりして，学習をふり返りましょう。
教出	○ 巻末に，1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入する，振り返りのページを設けている。	○ 「一年間のどうとくの学習をふり返ろう」 【記入欄3箇所】	○ 「一年間のどうとくの学習をふり返ろう」 ・一年間のどうとくのじゅ業で，いちばん心に残ったのはどの時間でしたか。 ・一年間で，自分の考え方や行動がどのように変わりましたか。 ・五年生になって，がんばりたいことはなんですか。
光村	○ 「学習のまとめ」ごとに，区切りのページを設け，「学びの記録」と共に，自分の学びの変化や学んだことが生かしたことを記入する，「まとめ」の欄を設けている。	○ 「学びの記録」 【毎時間分】  ○ 「まとめ」 【4回分】	○ 「学びの記録」 ・どんなことを学んだのかということや，学んだことについての感想などを記録しましょう。 ○ 「まとめ」 ・どうとくの時間に考えたことで，生活に生かしたことを書こう。 ・自分で自分が「変わったな」と思えたことを書こう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、学習の自己評価欄や、巻末に、道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 【毎時間分】 ○ 「どうとくの学習で学んだことを書きましょう」 【4回分】</p>	<p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 ・しっかり考えた ・新しく気づいたことがあった ○ 「どうとくの学習で学んだことを書きましょう」 ・心に残ったお話を書きましょう。その理由も書きましょう。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きや学びを記録する、振り返りの欄を設けている。また、学期末や年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「学びの足あと」 【毎時間分】  ○ 「まとめ」 【3回分】</p>	<p>○ 「学びの足あと」 ・授業を受けた後の気持ちを矢印で表しましょう。なぜ、そのような矢印にしたのか、わけや、感じたことを書きましょう。 ○ 「まとめ」 ・どうとくで学んだことを、まとめましょう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻末に、道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。</p>	<p>○ 「心のたから物」 【記入欄5箇所】</p>	<p>○ 「心のたから物」 ・道徳の学習をして、心にふえたたから物や、心に残った話を書いておきましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、考えたり振り返ったりしたことを書く欄や、巻末に、心に残っている授業などについて記録するページを設けている。また、自己評価をしたり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。</p>	<p>○ 「今日のじゅ業で感じたことや考えたことを書きましょう。」 【内容項目ごとに授業2時間分】 ○ 「心に残っているじゅ業の記録」 【4回分】等 ○ 「心のしおり」 【毎時間分】 【内容項目分】</p>	<p>○ 「今日のじゅ業で感じたことや考えたことを書きましょう。」  ○ 「心に残っているじゅ業の記録」 ・心に残っている理由 ○ 「心のしおり」 ・できたかな ・自分をふり返ってみましょう</p>